



管内市町村の概要 TOKACHI 2018

■地名の由来…「」内はアイヌ語



十勝くとかち
1市16町2村
 面積/10,831.62km²
 人口/342,724人

- 1**  ●面積 /619.34km² ●人口 /167,681 人
 十勝圏の中核都市として、「帯広の森」や「八千代牧場」などの自然環境と快適な都市機能とが調和する田園都市。また「食と農林漁業」を柱とした地域産業政策「フードバレーとちかち」を十勝全体で推進している。「お菓子のまち」として有名。
 ■地名の由来 / 「オベレベレケア」(川川がいくつにも分かれてる川)の意)が変化。
 ■観光名所 / 八千代牧場、岩内仙峡、幸福・愛国駅、ばんえい駒馬、緑ヶ丘公園、北の屋台、紫竹ガーデン、真鍋庭園など。
- 2**  ●面積 /466.02km² ●人口 /45,056 人
 日本有数の生産量を誇る小麦や豆類などを育む肥沃で広大な耕地と、美しい自然に恵まれた緑豊かなまち。北海道遺産に選定された「モール(植物性)温泉」で知られる「十勝川温泉」などがある。
 ■地名の由来 / 「オトフケ」(毛髪が生ずるという意味)から転訛。
 ■観光名所 / 十勝が丘公園(花時計「ハナツク」)、十勝が丘展望台(シーニックカフェ)、十勝牧場展望台、白樺並木、道立十勝エコロジーパーク、十勝川温泉、柳月スイートピアガーデンなど。
- 3**  ●面積 /259.19km² ●人口 /6,214 人
 畑作、酪農、畜産などが盛んで、面積の約60%が農用地。平成29年度の農業生産額が435億円を超える全国有数の農業の町。肉牛飼育頭数は日本一。
 ■地名の由来 / 「シウウオロー」(広大な土地の意)から転訛。
 ■観光名所 / 平成29年4月に移転リニューアルした道の駅「ピア21しほろ」、モール温泉かけ流しのしほろ温泉、雲海の見える土幌高原など。
- 4**  ●面積 /694.23km² ●人口 /4,988 人
 大雪山国立公園内の糠平湖を取り囲む森林と山岳美、日本一広い公共牧場であるナイタイ高原牧場に加え、熱気球の町としても全国的に有名なまち。
 ■地名の由来 / 土幌村から分村の際、土幌川の支流に位置することから名付けられた。
 ■観光名所 / ナイタイ高原牧場、三國峠、糠平湖、ぬかびら源泉郷、旧国鉄土幌線コンクリートアーチ橋梁群(北海道遺産)、ひがし大雪自然館など。
- 5**  ●面積 /402.88km² ●人口 /5,505 人
 幻想的な然別湖を有し、夏は白蛇姫まつり、冬は「しかりべつ湖コタン」が開かれ、四季を通じて賑わっている。神田日勝記念美術館、ライディングパーク、農業体験のファームインなどでリフレッシュのできるまち。
 ■地名の由来 / 「シカオイ」(鹿の意)の和訳から。
 ■観光名所 / 然別湖、神田日勝記念美術館、鹿追町ライディングパークなど。
- 6**  ●面積 /1,063.83km² ●人口 /6,292 人
 農業、林業を主産業とするまち。良質なそばの産地として有名。特産品は新得そば、しんとく燻、ナチュラルチーズ、鹿肉、新得地鶏、そば焼酎など。狩野高原を中心に、乗馬、スキー、ラフティング等楽しめるリゾート地でもある。手話の理解を促るため、町村では全国初の「手話に関する基本条例」を施行。
 ■地名の由来 / 「シットク・ナイ」(山の肩・端)、「シントク」(酒造りの漆器)から転訛。
 ■観光名所 / 狩勝峠、トムラウシ温泉、くつたり温泉、サホロリゾート、ベア・マウンテン、クラブメッド北海道サホロ、そばロードなど。
- 7**  ●面積 /402.25km² ●人口 /9,598 人
 日勝峠の東側に位置するまちで、「日勝峠展望台」など眺めの良い場所が多く存在する。ご当地グルメ「十勝清水牛玉ステーキ丼」は、新・ご当地グルメグランプリ北海道で3連覇を果たし、殿堂入りしている。
 ■地名の由来 / 「シメケレベツ」(きれいな川)の意)の和訳から。
 ■観光名所 / 清水公園(展望パークゴルフ場)、日勝峠展望台、清水円山展望台、美夢パノラマパーク、十勝千年の森など。
- 8**  ●面積 /513.76km² ●人口 /18,735 人
 小麦、馬鈴薯、小豆、てん菜、スイートコーンの作付面積、収穫量が道内でもトップクラスのまち。また、ゲートボール発祥の地であり、全国大会が開かれている。
 ■地名の由来 / 「メム・オロベツ」(わき水のところの川)の意)から転訛。
 ■観光名所 / 新嵐山スカイパーク、芽室公園、花菖蒲園、みのりーむなど。
- 9**  ●面積 /292.58km² ●人口 /3,957 人
 日高山脈中部を源とする清流に広がるまち。美しい農村景観や豊富な農畜産物を探め、多くの観光客が訪れている。
 ■地名の由来 / 「サチナイ」(乾いた川)の意)から札内川の中流に位置するので「中」を冠した。
 ■観光名所 / ピョウタンの滝(札内川)園地、中札内美術村(小泉淳作美術館、相原求一朗美術館)、六花の森、花畑牧場など。
- 10**  ●面積 /176.90km² ●人口 /3,236 人
 国内最大級の大規模機械化農業経営のまち。村内にあるどんぐり公園すももの里は約3haの広大な敷地に1,000本を超えるすももの木が春の訪れを告げる。また、54ホールの公認パークゴルフ場やオートキャンプ場などの施設も整備されている。
 ■地名の由来 / 「サラベツ」(草・茅の生い繁るところの意)に更別の漢字を当てたもの。
 ■観光名所 / さらべつカントリーパーク、どんぐり公園、十勝スピードウェイなど。
- 11**  ●面積 /815.68km² ●人口 /5,651 人
 航空宇宙技術開発に関する実験が行われている宇宙のまち。「大樹町宇宙交流センター-SORA」では、実験の様子を映像やパネルで見学できる。過去12回にわたり日本一の清流に選ばれた「厩川」では、砂金堀体験やカヌー・下りを楽しむ。
 ■地名の由来 / 「タイキウシ」(森林が繁茂するところの意)から転訛。
 ■観光名所 / 晩成温泉、カムイコタン、坂下仙峡、ホロカヤントー周辺など。
- 12**  ●面積 /596.54km² ●人口 /7,031 人
 十勝の海の玄関「十勝港」とともに発展を目指し、ノルウェーオスロ市から、国外唯一の「サンタランド」として認定されたまちとして全国的にも有名。国道336号沿いには、直接道路脇を流れ落ちる「フンベの滝」がある。
 ■地名の由来 / 「ピルイ」(ピは石が転がる、ルイは磁石がとれる地の意)から転訛。
 ■観光名所 / シーサイドパーク広尾、大丸山森林公園(ひろおサンタランド)、フンベの滝、黄金道路、天馬街道など。

- 13**  ●面積 /477.64km² ●人口 /27,064 人
 「パークゴルフ」発祥の地。パークゴルフは、年齢を問わず誰もが気軽に楽しめるスポーツとして世代を超え、国を超えて広がりを見せ、海外にもコースができるほどの人気を博している。ナウマン象化石の発見で有名な忠類地区には、ナウマン温泉アルコ236、道の駅「忠類」、白銀台スキー場などの施設がある。
 ■地名の由来 / 「マンベツ」(山の方にある川)の意)から転訛。
 ■観光名所 / ビラリ(明野ヶ丘公園)、十勝ヒルズ、ナウマン象記念館、丸山展望台など。
- 14**  ●面積 /371.79km² ●人口 /6,875 人
 ブドウ栽培からこだわる「十勝ワイン」のふるさと。小高い丘に建つワイン城では、やさしく、分かりやすく、ワインの知識を提供するため、「五感に訴える観光」をテーマに、ガイドツアーを行っており、十勝ワインを「体感」することができる。
 ■地名の由来 / 池田侯爵が開設した池田農園の名称をとり池田とした。
 ■観光名所 / ワイン城、十勝まきばの家、千代田えん堤、DCTgardenKEDAなど。
- 15**  ●面積 /536.71m² ●人口 /3,214 人
 十勝川の最下流に位置する十勝発祥の地。まちのシンボルとなっている樹齢約150年の「はるにれ」は、2本の木が一体化し美しい形を作っている。1月中旬から2月下旬に大津海岸で見られる「ジュエリーアイス」は、凍結した十勝川の氷が割れて海へと流れ、砂浜に打ち上げられたもので、道内外の写真家はもとより海外からの観光客から注目されている。
 ■地名の由来 / 「トエ・コ」(大きなふきの意)から転訛など諸説あり。
 ■観光名所 / はるにれの木、とごころ物産直売所、長節湖、湧洞沼、茂岩山森林公園など。
- 16**  ●面積 /391.91m² ●人口 /7,254 人
 本別生まれの「中生光黒大豆」を使った加工品のブランド「キレイマメ」を全国へ発信する豆のまち。毎年9月には最大のイベント「きらめきタウンフェスティバル」が、2月には節分をテーマにした「豆まかナイト」が開催されている。市街地近くには高速道路のIC、JCTがあり、道東の交通の要所となっている。
 ■地名の由来 / 「ポン・ベツ」(小さな川)の意)から転訛。
 ■観光名所 / 本別公園(義経の館、ボード、ゴカート、キャンプ場など)、道の駅「ステラ★ほんべつ」、旧ふるさと銀河線線橋など。
- 17**  ●面積 /1,408.04km² ●人口 /7,061 人
 林業と農畜産物が主産業のまち。町内に自生する高さ2~3mの巨大なフキ「釧路(わん)フキ」は北海道遺産に登録されている。道の駅「あしよろ銀河ホール21」は平成29年度に国土交通省からモテル「道の駅」(地域交通拠点部門)に認定され、地域の公共交通の拠点として活用されている。
 ■地名の由来 / 「アショロ・ベツ」(沿って下る川)の意)から転訛。
 ■観光名所 / オンネー、湯の滝、足寄動物化石博物館、白藤の滝、雌阿寒温泉、芽室温泉など。
- 18**  ●面積 /608.90km² ●人口 /2,442 人
 酪農と林業が基幹産業で、夏と冬の寒暖の差が70度にもなる日本一寒い「しほれ」のまち。寒さを体感するイベント「しほれフェスティバル」は一般公開にも有名。「星空にやさしい街10選」に認定されており、銀河の森天文台には全国公開型としては日本最大級である115cmの大型望遠鏡がある。
 ■地名の由来 / 「リクンベツ」(高いところにある川)の意)から転訛。
 ■観光名所 / かぶとの里、銀河の森天文台、ふるさと銀河線りくべつ鉄道など。
- 19**  ●面積 /729.85km² ●人口 /4,870 人
 十勝最東端に位置し、町の面積の約74%を森林が占めている。海岸線には自然の花畑である「豊北原生花園」|広大な太平洋を見下ろせる「昆布刈石海岸」などもあり、自然豊かなまち。
 ■地名の由来 / 「オーラポロ」(川尻に大きな葉が生育する所の意)から転訛。
 ■観光名所 / うらほろ留温泉、うらほろ森林公園、昆布刈石展望台、豊北原生花園など。

※面積は、平成29年10月1日現在の全国都道府県市区町村別面積調(国土院理院)。
 なお、然別湖は水面が境界未定のため、上士幌町及び鹿追町の面積に含まれない(十勝全体の面積には含まれる)。
 ※人口は、北海道が公表している平成29年12月31日現在の住基ネットにおける人口。
 (北海道総合政策部地域主権・行政局市町村課調)